

① 物理探査技術センター…………… 2
 ② 最近発見された日本の新油田・新ガス田④…………… 4
 ③ 海外における金属鉱床の地化学探査…………… 9
 ④ 砂 丘……………12
 ⑤ 目でみる地学 ⑤変成岩 2……………16
 ⑥ 天然記念物—6—……………20
 ⑦ 各部課を尋ねて⑦……………22
 ………………地質ニュース No.76

表紙の写真

連 痕 四国路④ (5万分の1 土佐清水)

小波の化石 連痕は比較的新しい地質時代の堆積岩にしばしば認められることができる 写真は 高知県土佐清水市付近の路傍に露出しているものの一節で 数千万年前の化石である (石)

プリモオート トプコール 75mm F3.5 SS
 f11 250分の1秒 Y-2 D76 吉野FS-2
 コレクター

物理探査技術センター

物理探査は地球物理学の応用として生まれたものであるが 電子工学 機械工学などの近代工
 学技術を取り入れて 著しい発達をもたらされた。さらに地質学との関連性も次第に解明され
 るようになり 今日では地殻の探査には欠くことのできない技術となってきた。従って 現在世
 界の先進国においては 物理探査はすぐれた研究者 技術者 漸新な設備をようし 新しい技術の
 開発を行いながら実施されているのが現況である。

アメリカ・カナダ 等においては 石油鉱業という大きな経済力を背景として 著しい発展が
 もたらされた。民間鉱山会社に大規模の物理探査の組織を有するところがあり また物理探査の
 請負会社も数多く そのうちにはかなり規模の大きなものも少なくない。これらは勿論油田探査
 に関する面が最も多いのであるが 他の分野における活動も見逃がせないものがある。

また国家機関である地質調査所においても 物理探査の研究調査が進められ 広区域の組織的な
 物理探査図の出版などが行われている。

ソ 連 においては 物理探査は最近非常な勢で行われている。物理探査研究所ともいべき組
 織もあり ソ連独自の各種の器械が製作され また各級各種の教科書が出版されている。広い国土
 内に各種の物理探査が実施されているが 陸域だけでなく海域の調査も組織的に進められている。

ヨーロッパ諸国においては アメリカ・ソ連とは少々異なった形態がとられている。例えば
 フランスでは C. G. G. (Compagnie Generale De Geophysique) が 国内 国外の物理探査
 を一手に行っている、これはフランスにあったいくつかの物理探査の会社を統合してできたもの
 で このために国家資本も出されたのであるが 現在は民営で行われている。

西ドイツでは P R A K L A (Gesellschaft für Praktische Lagerstättenforschung) と
 いう物理探査の会社がある。これは 戦後地質調査所の物理探査の技術陣の一部とその他によっ
 て 公社的なものとして発足したもので これが中心となって 西ドイツの国内 国外にわたって